

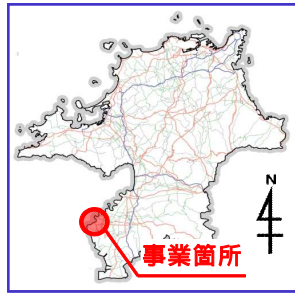
再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課

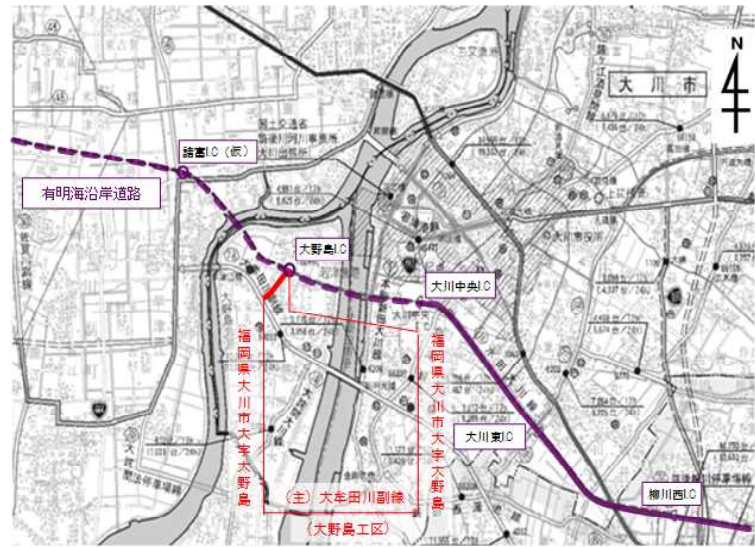
担当課長名：菊地 春海

事業名		(主)大牟田川副線【大野島工区】		事業		事業	
				区分	地方道	主体	福岡県
起終点		自：福岡県大川市大字大野島 至：福岡県大川市大字大野島		延長		0.57km	
事業概要 (主)大牟田川副線【大野島工区】は、地域高規格道路有明海沿岸道路 大野島ICへの唯一のアクセス道路であり、リダンダンシーの確保、地域の活性化等を目的とし福岡県大川市大字大野島域内の延長約0.57kmを整備するものである。							
H27年度事業化		H10年度都市計画決定		H-年度用地着手		H-年度工事着手	
全体事業費		約9.2億円		事業進捗率		1% 供用済延長 km	
計画交通量		5,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年 平成26年	
	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)		(残事業)/(事業全体)			
	2.8	8.1/8.1億円		22/22億円			
	(残事業) 2.8	事業費：8.1/8.1億円 維持管理費：0.4/0.4億円		走行時間短縮便益：15/15億円 走行経費減少便益：3.6/3.6億円 交通事故減少便益：3.8/3.8億円			
感度分析の結果							
(事業全体) 交通量 : B/C=2.6~3.0 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=2.6~3.0 (交通量 ±10%)							
事業費 : B/C=3.1~2.5 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=3.1~2.5 (事業費 ±10%)							
事業期間 : B/C=2.8~2.7 (事業期間 ±20%) 事業期間 : B/C=2.8~2.7 (事業期間 ±20%)							
事業の効果等							
<ul style="list-style-type: none"> 大野島地区から有明海沿岸道路 大野島ICへの唯一のアクセス道路である。 災害時において大野島地区の孤立化を防ぐことができる。 							
関係する地方公共団体等の意見							
<ul style="list-style-type: none"> 地元自治体(大川市)より要望あり。 有明海沿岸道路建設促進福岡県期成会(福岡県大牟田市・柳川市・大川市・みやま市)より要望あり。 							
事業評価監視委員会の意見							
-							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
変化なし							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
用地取得率0%、事業進捗率1%							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
有明海沿岸道路大野島ICの供用時期に合わせて事業を推進していく。							
施設の構造や工法の変更等							
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく							
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由							
<ul style="list-style-type: none"> 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 							

事業概要図



福岡県



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。